



应用型本科院校“十二五”规划教材/外语类

日本語の読解

最新日语泛读教程

第二册

- 适用面广
- 应用性强
- 促进教学
- 面向就业



主编 康歆媛 葛晓昱



哈尔滨工业大学出版社
HARBIN INSTITUTE OF TECHNOLOGY PRESS

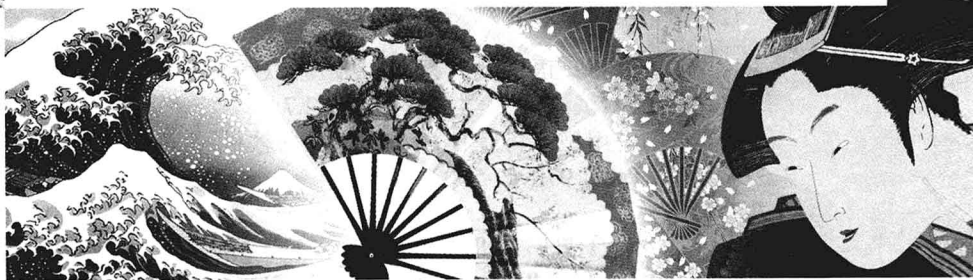


应用型本科院校“十二五”规划教材/外语类

日本語の読解

最新日语泛读教程

第二册



主 编 康歆媛 葛晓昱
副主编 吴 征 马全婧 徐顺风
参 编 李锦兰 史 琳 王方方



哈尔滨工业大学出版社
HARBIN INSTITUTE OF TECHNOLOGY PRESS

内容简介

随着近年来应用型本科院校蓬勃发展,缺乏与之配套的教学用书和辅导教材的问题日益凸显。笔者从应用型本科院校学生的切身实际出发,本着实事求是和因材施教的原则,以填补此类教材的空白为动力,以提高日语学生的阅读能力和应试水平为目标,编写了本套同时具有时效性、实用性和趣味性的,适合于应用型本科院校日语专业学生的阅读教材。全套教材选用各类小说、随笔、说明文及报刊文章等不同题材和体裁的最新短文共一百多篇。其中的报刊文章选自《每日新闻》、《朝日新闻》和《人民日报(海外版)》等权威机构近两年对最新的国内外重大事件的报道。方便应用型本科院校的学生和相应层次的人员自主学习,提高日语阅读能力,增加日语的词汇量,扩大对日本文化的视野,更多地了解日本社会及其风土人情。

图书在版编目(CIP)数据

最新日语泛读教程.第二册/康歆媛,葛晓昱主编.—哈尔滨:
哈尔滨工业大学出版社,2012.7
应用型本科院校“十二五”规划教材
ISBN 978-7-5603-3674-9

I.①最… II.①康… ②葛… III.①日语-阅读教学-高等学校-教材 IV.①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2012)第 163163 号

策划编辑 杜 燕 赵文斌 李 岩
责任编辑 苗金英
出版发行 哈尔滨工业大学出版社
社 址 哈尔滨市南岗区复华四道街 10 号 邮编 150006
传 真 0451-86414749
网 址 <http://hitpress.hit.edu.cn>
印 刷 黑龙江省委党校印刷厂
开 本 787mm×960mm 1/16 印张 13.5 字数 292 千字
版 次 2012 年 7 月第 1 版 2012 年 7 月第 1 次印刷
书 号 ISBN 978-7-5603-3674-9
定 价 26.00 元

(如因印装质量问题影响阅读,我社负责调换)

前 言

近年来,应用型本科院校蓬勃发展。我们本着一切以学生为中心,以教学为中心,填补空白,实用、有趣的原则,围绕着有效地、迅速地提高日语学生的阅读能力和应试水平,针对应用型本科院校日语专业的学生编写了此套教材。

本套书是应用型本科高等院校中、高年级日语专业的学科基础必修课教材,也可供具有相应程度的日语学习者、涉外人员及日本问题研究者使用。

本套书分为第一册、第二册。第一册结合日语国际能力测试 N3~N2 的题型,适合日语专业二年级学生使用。设置了短文、单词、语法及附带读解文的课后练习,并在课后对日语国际能力测试 N3~N2 中常出现的形容词、动词以及惯用句等必考知识点进行了归纳,每课还增加了谚语等小知识。方便应考学生查阅。

第二册结合日语国际能力测试 N2~N1 的题型,适合日语专业三年级的学生使用。同样也设置了短文、单词、语法及带有阅读的课后练习,并在课后对日语国际能力测试 N2~N1 中常出现的形容词、动词以及惯用句等必考知识点进行了归纳,以方便应考学生查阅。

全套书选用各类小说、随笔、说明文及报刊文章等不同题材和体裁的最新短文共一百多篇,第一册对其中的单词、语法用汉语加以详尽的注释和说明;第二册对单词、惯用型和句型等用日语进行解释,体现了阶梯性的特点,方便应用型本科院校的学生和相应层次的人员自主学习,提高日语阅读的能力,增加日语的词汇量,扩大对日本文化的视野,了解日本社会及其风土人情,引导学生对课文脉络进行逻辑性的分析和归纳。

其中的报刊文章选自《每日新闻》《朝日新闻》和《人民日报(海外版)》等权威机构对近两年的最新国内外重大事件的报道。

本套教材主要有如下特点:

1. 针对性:适用于应用型本科院校日语专业的二、三年级学生。
2. 有效性:注解深入浅出,通俗易懂;练习题型由浅入深。可以引导学生在快速阅读的

基础上,有效地提高阅读能力和日本式的思维能力。

3. 可读性:选文题材新颖,时事性强,以便学生更多地掌握与时俱进的新词汇和知识点。

4. 实用性:文中要点紧密地与日语国际能力测试相结合,在让学生掌握理论知识的同时,有效地提高应试能力。

本书在编写过程中,得到了樊有卷副教授的大力支持。在撰写过程中借鉴和引用了国内外学者的研究成果或相关杂志、报纸的资料,在此一并表示感谢。

由于编者水平有限,时间仓促,不妥之处在所难免,热切期望专家学者不吝指教。

编者

2012年6月

序

哈尔滨工业大学出版社策划的《应用型本科院校“十二五”规划教材》即将付梓,诚可贺也。

该系列教材卷帙浩繁,凡百余种,涉及众多学科门类,定位准确,内容新颖,体系完整,实用性强,突出实践能力培养。不仅便于教师教学和学生学学习,而且满足就业市场对应用型人才的迫切需求。

应用型本科院校的人才培养目标是面对现代社会生产、建设、管理、服务等一线岗位,培养能直接从事实际工作、解决具体问题、维持工作有效运行的高等应用型人才。应用型本科与研究型本科和高职高专院校在人才培养上有着明显的区别,其培养的人才特征是:①就业导向与社会需求高度吻合;②扎实的理论基础和过硬的实践能力紧密结合;③具备良好的人文素质和科学技术素质;④富于面对职业应用的创新精神。因此,应用型本科院校只有着力培养“进入角色快、业务水平高、动手能力强、综合素质好”的人才,才能在激烈的就业市场竞争中站稳脚跟。

目前国内应用型本科院校所采用的教材往往只是对理论性较强的本科院校教材的简单删减,针对性、应用性不够突出,因材施教的目的难以达到。因此亟须既有一定的理论深度又注重实践能力培养的系列教材,以满足应用型本科院校教学目标、培养方向和办学特色的需要。

哈尔滨工业大学出版社出版的《应用型本科院校“十二五”规划教材》,在选题设计思路上认真贯彻教育部关于培养适应地方、区域经济和社会发展需要的“本科应用型高级专门人才”精神,根据黑龙江省委书记吉炳轩同志提出的关于加强应用型本科院校建设的意见,在应用型本科试点院校成功经验总结的基础上,特邀请黑龙江省9所知名的应用型本科院校的专家、学者联合编写。

本系列教材突出与办学定位、教学目标的一致性和适应性,既严格遵照学科

体系的知识构成和教材编写的一般规律,又针对应用型本科人才培养目标及与之相适应的教学特点,精心设计写作体例,科学安排知识内容,围绕应用讲授理论,做到“基础知识够用、实践技能实用、专业理论管用”。同时注意适当融入新理论、新技术、新工艺、新成果,并且制作了与本书配套的 PPT 多媒体教学课件,形成立体化教材,供教师参考使用。

《应用型本科院校“十二五”规划教材》的编辑出版,是适应“科教兴国”战略对复合型、应用型人才的需求,是推动相对滞后的应用型本科院校教材建设的一种有益尝试,在应用型创新人才培养方面是一件具有开创意义的工作,为应用型人才的培养提供了及时、可靠、坚实的保证。

希望本系列教材在使用过程中,通过编者、作者和读者的共同努力,厚积薄发、推陈出新、细上加细、精益求精,不断丰富、不断完善、不断创新,力争成为同类教材中的精品。

黑龙江省教育厅厅长



《应用型本科院校“十二五”规划教材》编委会

主 任 修朋月 竺培国

副主任 王玉文 吕其诚 线恒录 李敬来

委 员 (按姓氏笔画排序)

丁福庆 于长福 马志民 王庄严 王建华

王德章 刘金祺 刘宝华 刘通学 刘福荣

关晓冬 李云波 杨玉顺 吴知丰 张幸刚

陈江波 林 艳 林文华 周方圆 姜思政

庾 莉 韩毓洁 臧玉英

目 录

第一課	見合いは親同士で.....	1
第二課	動物の体形	10
第三課	性別役割分担	18
第四課	人形	小林 秀雄 27
第五課	贈るかたちと意味	野田正彰 35
第六課	地球の温暖化	松下 和夫 43
第七課	虫が鳴く.....	池田 麻耶子 51
第八課	ケータイ社会	斉藤貴男 59
第九課	コンビニ考	速水 健次郎 68
第十課	リーダーとしての心得	西堀 栄三郎 76
第十一課	欲望と価値	佐伯啓思 85
第十二課	ウチとソトとヨソ.....	浅田秀子 93
第十三課	ごみゼロ社会	八代昭道 101
第十四課	ドラえものの大切なメッセージ.....	福島憲成 109
第十五課	地球は丸いか.....	北杜夫 119

第十六課	東京の建築	芦原義信	127
第十七課	花の香り	田中修	136
第十八課	情報機器	小山田了三	144
第十九課	医者と医療のあいだ	なだ いなだ	152
第二十課	音楽家	谷川正巳	160
附录 1	一、二级语法索引		168
附录 2	一、二级形容词索引		177
附录 3	第二册单词索引		186
附录 4	第二册语法索引		197
附录 5	谚语		200
参考文献			206



【考えながら読もう】

- 1 「親同士の見合い」というのはどのようなイベントなのか。
- 2 このイベントに参加した母親たちは、例えばどのようなことを言っているか。
- 3 「親同士の見合い」について、あなたはどのような意見をもっているか。

第一課 見合いは親同士で

「自分の子どもはいつ結婚するのか」。晩婚化が進む中で、親の世代には焦りが広がっているようだ。未婚の息子・娘を持つ親同士が子どもに代わって見合いをする催しが登場し、参加希望が殺到。人生の伴りよを見つけるのも親がかりといった様相だ。

「30歳までには何とか結婚を」「娘はキャリアウーマン¹というわけじゃないですよ」。会場のあちこちで息子・娘の経歴や写真を見せながら、60~70代の親たちが子どもを互いに紹介。適当な相手を探すための交渉を繰り返す。

4月初めの日曜、東京・新宿の日本青年館で開かれた「お見合い新時代・親の縁は子の縁交流会 in 東京」。札幌市に本拠を置く結婚相談室オフィス・アン(斉藤(さいとう)美智子(みちこ)さん主宰)が企画した親同士の見合いイベントだ。30~40代の未婚の子どもを持つ親を中心に約130人が集まった。

息子(35)が工場で品質管理の仕事をしているという母親は「男性職場で帰宅は遅く、土日も疲れている感じ。相手を見つけるのを急がないと」と打ち明ける。会社員の娘(36)を持つ母親は「本人は女の子どうしつるんで遊ぶばかり。(男性に対する)積極性がない。東京の職場はおなじさんばかりで、若い男性はみんな地方に出て、よい相手がいないらしい」と気をもんでいた。

親たちに共通するのは黙っていて子どもは婚期を逸するのではないかという危機感。それを裏付けるように今回の催しには500件を超す問い合わせがあった。選に漏れた親200人のために、10月に再び東京で親同士の見合いを開く。

オフィス・アンは5年前から札幌市で親同士の見合いを始めて、これまでに札幌で9回、東京で2回開き、延べ1150人の親が参加した。ゴールインした子どものカップルは20組

前後。「結婚までこぎつける人はそう多くないので、期待され過ぎても心苦しいが、東京での反響には驚いている」と斉藤さん。晩婚化が特に目立つ東京で親の心配も増幅している。

こうした現象をどう見るか、評価はいくつかに分かれる。「イベントに参加した親の勇気をほめたい」と語るのは日本社会事業大学大学院の渡辺(わたなべ)一雄(かずお)特別客員教授だ。

渡辺氏は「親はためらうな」とむしろはつばをかける。子どもが30~40代になって未婚のままだと、親は遠慮して話を切り出せず、放置してしまう例が多い。「本音で子どもと向き合い、結婚のチャンスを与えるべく、努力するのが親の役目。時が経つのは早いから、子どもと親が同時並行で相手を探す必要がある。

実際に渡辺氏は昨年、30代の未婚の息子とひざ詰め談判した。10時間かけて書き上げた「自立のための10カ条」を示し「玄関の靴はきちんとそろえる」から始まって話は結婚問題にまで及んだ。「迫力を持ってぶつかれば子どもはついてくる」と熱っぽく語る。

親の気持ちは「手に取るようによくわかる」としながらも、結婚は本人の問題という原点から考えて、親同士の見合いに戸惑いを感じているのは日本青年館結婚相談所の板本(いたもと)洋子(ようこ)所長だ。

「親同士の見合いだとその場で二人が恋に落ちるなどということはありません。あくまで子どもの職業や年齢など条件の比べ合いになる。条件が優先される出会いの中で人を好きになるといったメンタル面はどうなるのか。(子どもが)図らずもほれて、相手と折り合いを付けながら新しい世界を築くといった楽しさは生まれるのか。難しさが残る」と語る。

家族問題に詳しい千葉大学の宮本(みやもと)みち子教授は伴りよ選別に親が必死で乗り出さなければならぬ社会に、むしろ「情けなさ」を見て取る。

「結局、子どものことを心配する」のは親しかいない社会になったということでしょう。結婚についても親族も職場の上司もあるいは第三者の友人も世話を焼いたり、手助けしたりすることがあまりなくなった。核家族がそれぞれ孤立している」と指摘する。

この時代、子ども世代に大事なものは自立性だという。「皆婚社会」ではなくなっている





のだから、シングルで一生暮らすことも視野に入れ、経済力や生活力を身につけ、近所づき合いもするなど社会と広く関係していく生き方」(宮本さん)だ。その能力が備われば「いい人と出会うチャンスも自然と広がる」と語る。

裏を返せば、自立性を欠いた子ども世代の姿に親世代がいらいらしているのが現状なのかもしれない。何となく子どもが結婚せず、実家に依存する「ズルズル未婚」(宮本さん)からの出口は、まだはつきり見えてはいない。

(2004年4月22日付『日本経済新聞』より)

注:

- 1 【キャリアウーマン】 専門的な知識・技能が必要な職業につき、それに意欲的に取り組んでいる女性。
- 2 【皆婚社会】 結婚することが当然とみなされている社会。

語彙

- 1 繰り広げる(くりひろげる)⑤①[他一]
場面や情景を次々に展開する。
- 2 置く(おく)①[他五]
施設・機関・役割などを作り設ける。また、人にある役割を与えてその地位に据える。
- 3 イベント①[名]
行事。催し物。
- 4 打ち明ける(うちあける)④①[他一]
これまで心にしまってきたことなどを包み隠さずに話す。告白する。明かす。
- 5 共通(きょうつう)①[名・形動・自サ変]
複数のものの、どれにも当てはまること。
- 6 裏付ける(うらづける)④[他一]
物事をほかの面から証拠づける。
- 7 漏れる(もれる)②[自一]
ある枠からはずれる。除外される。

8 延べ(のべ)①[名]

同一のものが何度重複しても、それぞれを一回と数えて総計すること。

9 漕ぎ着ける(こぎつける)④①[他一]

努力して目標に到達させる。

10 躊躇う(ためらう)③[他五]

あれこれ迷ってぐずぐずする。躊躇する。

11 切り出す(きりだす)③①[他五]

大切な話・用件などを言い始める。

12 向き合う(むきあう)③[自五]

互いに正面を向いて対する。向かい合う。

13 あくまで②①[副]

例外を排除して、物事を一定の範囲に限定するさま。最終的な判断としては。

14 メンタル①[形動]

精神や知性に関するさま。心理的であるさま。

15 図らずも(はからずも)③②[副]

思いがけなく。意外にも。

16 乗り出す(のりだす)③[自五]

進んであることをし始める。また、進んである分野に入っていく。

17 ずるずる①[副]

けじめやきまりをつけないで、そのままの状態が続くさま。また、物事にはまりこむさま。

慣用表現

【気が揉める・気を揉む】 心配で落ち着かない。やきもきする。

○飛行機の到着が遅れて気がもめる。

○無事に下山できるかどうか気がもめる。

○連絡がないので父が気をもんでいる。





【発破をかける】 激しいことばなどをかけて発奮させる。

○コーチが選手にはつばをかける。

○何としても契約を取ってこいと上司から発破をかけられた。

【手に取るよう】 (すぐ目の前にあるように)はつきりと見えたり、わかつたりするさま。

○隣室の様子が手に取るようにわかる。

【世話を焼く】 進んで他人のために尽力する。

○余計な世話を焼く。

○同窓会の世話を焼く。

○若い人たちは世話を焼かれるのを嫌がる。

【裏を返せば】 逆の見方をすれば。裏返して言えば。

○彼の考え方は、裏を返せば利己主義にすぎない。

○彼女は几帳面だが、裏を返せば融通が利かないということだ。

文型

1 動詞基本形+べく(「する」は「すべく」もある。):「～しようと思って」の意味で、「ある目的をもってそうする」と言いたいときに使う。硬い表現ではあるが、現代語でも使われる。後の文には依頼や命令、働きかけを表す文は来ない。

○彼女は新しい気持ちで再出発するべく、長野県の山村に引っ越していった。

○田中氏は記者会見場に向かうべく、上着を着て部屋を出た。

○青木さんを迎えるべく空港まで行ったが、会えなかった。

2 動詞連用形/名詞+つばい:その感じがする、よくそうするの意味で回数ではなく、ものの性質について言うときに使う。よくないことに使うことが多い。「男つばい、うそつばい、色つばい、黒つばい、疲れつばい」などの例がある。

○きみ子はもう20歳なのに話すことが子どもつばい。

○花子は飽きつぱくて何をやってもすぐやめてしまう。

○母は年のせいかこのごろ忘れつぱくなって、いつも物を探している。

○あの白っぽいセーターを着ている人が田中さんです。

○この部屋は日当たりが悪いので、いつもなんとなく湿っぽい。

3 動詞連用形/形容詞基本形/形容動詞・であり/名詞・名詞であり+ながらも:「～から予想されることとは違って、実際は…だ」と言いたいときに使う。「～」には状態性の動詞、「動詞ている」、形容詞や名詞などが来る。「ながら〈逆接〉」と意味・用法が同じだが、「ながら」より硬い表現。

○彼は金持ちでありながらも、とても地味な生活をしている。

○移転したばかりの新しい事務所は、狭いながらも駅に近いので満足している。

○彼は豊かな才能に恵まれながらも、その才能を生かせないうちに病に倒れ、若くして亡くなってしまった。

4 動詞連用形+得る:基本形は「うる」「える」の二つの読みがあり、連用形、未然形、は「えます」「えた」「えない」と読む。「～得る」は、「そうすることができる」「そうなる可能性がある」の意味で、「～えない」は、「そうすることができない」「そうなる可能性がない」意味である。「能力的にできる、できない」の意味では使わない。

○これは仕事を成功させるために考え得る最上の方法です。

○この事故はまったく予測しえないことであつた。

○彼が事件現場にいたなんて、そんなことはありえない。

練習問題

問題 1 次の漢字の読み方を確認してください。

焦り	催し	登場	殺到	経歴
交渉	主宰	逸する	増幅	現象
勇気	遠慮	放置	同時	並行
談判	迫力	優先	築く	指摘

問題 2 次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

問 1 妥当





- 1 この手紙には妥当に返事を出さなければならない。
- 2 彼は妥当的に研究を続けてきた。
- 3 山田さんの言ったことは妥当性にかける。
- 4 この条件に妥当する人を探してください。

問2 行方

- 1 台風は、行方を東に変えた。
- 2 中央図書館への行方をご存知ですか。
- 3 その男の子はこの間から家を出たまま行方がわからない。
- 4 今度の旅行、行方をどこにしようか迷っている。

問題3 次の文の()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1 長時間の協議(), やつと結論が出た。

- 1 の末に
- 2 できえ
- 3 ぬきでは
- 4 ばかりか

問2 この大学は実技(), 広く一般教養を重視した教育を展開している。

- 1 のみならず
- 2 のみにて
- 3 まですでなく
- 4 までも

問3 私が留学できたのは、両親のおかげ()。

- 1 のかいがない
- 2 にほかならない
- 3 ではいられない
- 4 になくてはならない

問4 良き() 悪しき() もうその話はどんどん進行しているのだから、なりゆきを見守りましょう。

- 1 につけ/につけ
- 2 でも/でも
- 3 にあり/にあり
- 4 とも/とも

問5 台風の上陸に(), 九州地方に警戒警報が発令されました。

- 1 反して
- 2 わたって
- 3 ともなつて
- 4 比べて

問題4 次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1 その国に _____ ★ _____、その国の本当の良さも悪さもわからない。